## Summary

Hara (1986) had different ideas on Ueda (1986a, 1986b) regarding the typification of *Magnolia obovata* Thunb. and *M. tomentosa* Thunb. The legitimacy of Ueda (1986a, b) is discussed and supplementary remarks are given to support his earlier papers. The correct name of the species formerly known as *M. stellata* (Sieb. & Zucc.) Maxim., is *M. tomentosa* Thunb., and the species ever known as *M. obovata* Thunb. has the correct name as *M. hypoleuca* Sieb. & Zucc.

□ Cribb, P. & I. Butterfield: **The genus** *Pleione* 94 pp., 20 pls., 9 figs. 1988. The Royal Botanic Gardens, Kew. ¥ca 6,000. 本書は Kew Magazine Monograph の1冊で、14 の植物画のうち、ほとんどを Christabel King が描き、数点を Rodella Purves, たゞ1点が有名な Margaret Stones の作品となっている。園芸家向きの栽培法などについての簡素な記述のほかは、通常のモノグラフの形式を採り、属記載、種と自然雑種への検索表、各種ごとの記載、異名と文献一覧、特徴などの記述がある。各種については野生品ばかりでなく、園芸品種も多数列挙されている。なお、20図版のうち、6 図版はカラー写真で、5点は花の拡大図である。人工雑種についても網羅的に扱っている。著者のうち、Phillip Cribb は Kew の分類学者、Ian Butterfield はこの属の人工雑種などを手がけている園芸家である。この属の種の分布の中心は中国であり、広東の植物園の C. Z. Tang (唐振緇) が協力している。 (大場秀章)